

ROCK FIELD report

第38期中間期のご報告

平成21年5月1日～平成21年10月31日



ROCK FIELD CO., LTD.

証券コード：2910

SOZAIオンリーワン 企業を目指して

株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、当社第38期中間期(平成21年5月1日～平成21年10月31日)の
営業の概況をご報告申し上げます。



当中間期の概況について

厳しい経済状況が続く時こそ、
安心・安全かつ付加価値の高い商品が求められます。

当中間期におけるわが国経済は、政府による各種経済対策の効果により、景気後退局面からの回復の兆しが見え始めたものの、企業収益の低迷や改善しない雇用環境による個人消費の低迷が続くなど、依然として厳しい状況のまま推移いたしました。食品業界におきましては、依然として食に対する安心・安全が求められる一方で、低価格競争の激化、雇用や所得環境の悪化傾向などの影響による生活防衛の意識の高まりにより、厳しい経営環境が継続いたしました。このような状況の中、当社グループは食の安心と安全への取り組みの強化とお客様のニーズを捉えた高品質で付加価値の高い商品の開発・提供、サービスの向上に継続して取り組んでまいりました。さらに計画的購買による原材料の安定的な確保や販売費及び一般管理費における経費のコントロールなどによる利益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、売上高22,347百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益788百万円(前年同期比0.5%増)、経常利益804百万円(前年同期比0.6%増)、四半期純利益351百万円(前年同期比13.0%減)となりました。

今後の取り組み

基本戦略の実践を通して、
ステークホルダーの皆様とのさらなる信頼関係を築いていきます。

今後の経済の見通しにつきましては、ドバイショックやデフレ宣言など、景気の先行きの不透明感や個人消費の一層の減退など、厳しい経営環境が続くものと思われま

す。当社グループは、第6次中期経営計画のスローガンである「創業40周年に向け、たゆまぬ全員参加の“KAIZEN”と大胆な“イノベーション”の風を起そう!」のもと、基本戦略の実践を通して、付加価値、収益性の高いSOZAIオンリーワン企業を目指してまいります。

基本戦略

「お客様志向」「高付加価値政策」「選択と集中」
「投資対効果」「暗黙知の形式知化」「人財育成」

厳しい環境変化の中で、全てのステークホルダーの皆様から信頼される企業を目指して、改善と改革に努め、強固な企業体質の構築を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年1月

代表取締役社長 岩田 弘三

～企業姿勢をカタチに～

神戸ヘッドオフィス／ 神戸ファクトリー



前回ご紹介した静岡ファクトリーに続き、
当社の神戸ヘッドオフィスおよび神戸ファクトリーをご紹介します。
安全なそうざい作りに必要な最新の設備導入はもちろんのこと、
地球環境への配慮と
周辺環境との調和も考慮した建物になっています。

))) 巨大物流倉庫から食品工場へ

「もったいないから残す」をコンセプトに、阪神淡路大震災で被災した巨大物流倉庫を食品工場としてリノベーション(修復)したものが、当社の神戸ヘッドオフィス&ファクトリーです。
建築家の安藤忠雄氏の監修のもと、5階建てだった物流倉庫の最上階を撤去。基盤を補強し、耐震性を強めるとともに、外観は「ファインフロア」と呼ばれる金属製の足場で覆い、デザイン性も確保しました。



1階はそうざいの生産現場、3階は来館入口とオフィス、4階はオフィスと従業員レストラン。4階南側には水庭が設置され、隣接した開発ラボと従業員レストランに光が反射して差し込みます。4階中央には中庭があり、光と風が抜ける開放的なフロアが広がります。

株主総会の会場としても使用しておりますので、ぜひ一度ご来場ください。

))) 自然を大切に、緑地計画を推進

埋め立て工場地帯の環境を向上させようと、緑地整備にも力を入れています。敷地内の一面にオリーブの森を作る緑地計画を立て、地球環境への配慮と快適な職場環境の整備との両立を目指しています。

■ 神戸市建築文化賞 受賞

神戸市の市民に愛される美しいまちの形成と既存ストックの再生・活用に大きく貢献したとして、平成16年12月に受賞しました。

■ デザインエクセレントカンパニー賞 受賞

生活や社会的価値の創造を企業目標として掲げ、商品やサービスなどのデザインを通じて、新しい価値を追求し提供しているとして、平成17年3月に受賞しました。



))) 食育でずくずく、元気の木保育室

神戸ヘッドオフィスでは、従業員保育室が敷地内に併設されています。
従業員のお子様をお預かりし、食育にスポットを当てた保育を行っています。



菜園では、季節の野菜を育てます

スイカやトマト、さつまいもなど、
野菜が成長する様子に子どもたちは興味津々。

たくさん野菜が採れたよ!

菜園でたくさんの野菜が収穫できると、決まって「オフィスへ持っていき!社長のところに行く!」と嬉しそうにオフィスを訪れる子どもたち。働くママを発見して、元気に遊んでいるわが子の姿を見つけて、お互いニコリ。

「元気の木保育室」発、大人気ブログも定期更新中!
<http://rockfield.weblogs.jp/genki/>

■第1回 株主様向け 静岡ファクトリー見学会開催

平成21年10月24日(土)、25日(日)に当社静岡ファクトリーの見学会を行いました。705名ものご応募の中から抽選で200名の方をご招待し、2日間とも大盛況となりました。

見学会の様子をピックアップしてご紹介



ビオトープ

生産現場は、見学者通路やライブカメラを通してご覧いただきました。下処理から包装に至るまでを、一つの工場内で行っていることが当社の強み。必要なときに必要なだけ作る『ジャスト・イン・タイム』を実現し、より新鮮で安心な商品をお届けしています。



ファクトリーに到着後、20人程のグループに分かれ、静岡ファクトリーのランドマークでもある風車やビオトープを、じっくり見学。



レタスの洗浄



見学者通路



昼食会

見学後は、窓の大きなテイस्टィングルームで当社商品をご試食いただきました。並ぶのは、作業工程を見学したばかりの商品。新鮮な野菜を使用しているオリジナルのタルタルソースの美味しさには納得、とのお声も。当社の商品へのこだわりを実感していただけたかと思えます。

ご参加いただいた株主様のお声より

「工場見学を通じて、なお一層商品を身近に感じることが出来た。」
「工場全体がエコに配慮した仕組みになっており、感動した。」
「商品一つ一つにこだわりがあり、サラダの美味しさの理由が分かった。」など、見学会を通じて、当社の取り組みについて理解を深めていただける機会となりました。

第2回見学会のお知らせ

次回は平成22年4月17日(土)、18日(日)に開催予定です。
同封のご案内をご確認のうえ、ぜひご応募ください。
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

■各ブランドがお届けする 新しいSOZAIのカタチ

平成21年11月、西武百貨店池袋本店の食品フロアがリニューアルしました。ロック・フィールドは、RF1、ベジテリア、いとはん、融合の4ブランドを出店。各ブランドの新しい取り組みをご紹介します。

RF1
SOZAI



家庭で本格的な味わいが楽しめる
RF1の“料理キット”



「RF1」の新商品“料理キット”は、メイン食材とソースを個別包装して販売しており、ご自宅で温め、お皿の上に盛り付けると出来たての美味しさが表現できます。

また、パウチ包装により、翌日以降も美味しくお召し上がりいただけます。特別な日のためのご用意や、親しい方へのパーソナルギフトとしてもおすすめ。ひと手間、いつもの食卓に上質な味わいとときめきをお届けします。

VEGETERIA
SALAD & DRESSING

ベジテリアサラダへの試み

これまでジュースやスープを通して野菜や果物の美味しさ、鮮度へのこだわりをお伝えしてきた「ベジテリア」から、今回新たにサラダを発売。毎日気軽に楽しめるサラダを基本に、健康のために繰り返しご利用いただけるよう、シンプルな味付けと、お求めやすい価格にチャレンジします。



「いとはん」「融合」ブランドからも、新サラダが登場

日本のさらだ

「いとはん」からは、和食を現代の日本の食文化に合うようRe-Designした「日本のさらだ」をご提案します。

AsiaN Salad

「融合」からは、アジア各国のエスニック料理を親しみやすいサラダとしてご提案します。



SOZAI

Think, food.
食文化を考える
ことから始めよう。
beOrganic・
RF1ガストロノミを含みます。

「アール・エフ・ワン」

184店舗 連結売上高17,056百万円

【部門概況】

「RF1」は「健康」「安心・安全」「鮮度」にこだわったSOZAIのトータルブランドです。家庭帰帰、内食に注目が集まる中、SOZAIの可能性を大きく広げるために、今まで以上に「付加価値の向上」や「より上質」をテーマに商品力に磨きをかけてまいりました。また、「お客様志向」という基本戦略のもと、お客様に求められるそうざいの提案を行いました。

「RF1 Asia」「融合」

8店舗 連結売上高518百万円

【部門概況】

アジア各国の人気メニューをスタイリッシュでヘルシーにお届けする「融合」では、美味しさにこだわった料理と、タイ・ベトナム・韓国・中国といったアジア各国の冷菜や和え物をベースにしたサラダを強化しました。また、素材へのこだわりや新たな組合せ、さらに鮮度・季節感のある商品の提案を行い、「健康」「安心・安全」をベースにした付加価値の高い商品への取り組みを行いました。



アジアンフード
ヒストリー

「神戸コロッケ」

53店舗 連結売上高1,948百万円

【部門概況】

平成元年4月、神戸元町に1号店をオープン。当初から食の「安心・安全」にこだわっていた「神戸コロッケ」も今年で20周年を迎えました。今期はより多くのお客様にご利用いただけるよう、コロッケ専門店としての品揃えに立ち返り、20周年の感謝の気持ちを込めた「アニバーサリーコロッケ」シリーズを月替わりで展開しました。

元祖 **神戸コロッケ**

素材にこだわる、
元祖コロッケ専門店

「いとはん」「三日坊主」

15店舗 連結売上高968百万円

【部門概況】

「いとはん」は、「食楽」という新しい考え方を取り入れ、日本人の新しい食生活に即した「日本のさらだ」を中心とした和そうざいを提案しています。日本人の心・身体が求める食、安心して楽しめる和そうざいを展開し、素材に適した調理法で商品開発を行っています。さらに四季折々の食材を歳時記に合わせた形で商品化し、お店から日本の四季をお届けできるよう取り組みました。

いとはん



この国の人、この国の食



新しい価値観の
和そうざいブランド

「ベジタリア」

30店舗 連結売上高943百万円

【部門概況】

フレッシュジュースやスープを通して旬の野菜や果物の栄養情報、健康へのヒントをお届けする「ベジタリア」では、旬の野菜を使った新メニューの提案や野菜ジュースを対象にしたスタンプラリーを実施し、毎月30日を「野菜ジュース拡販の日」として全店挙げてPRに取り組みました。また、夏場の冷製スープも継続した提案を行いました。



Sustainable Days.
地球にいいこと、
カラダにいいこと、
続けていこう。

「そうざいや地球健康家族」

17店舗 連結売上高814百万円

【部門概況】

「そうざいや地球健康家族」では、より地域に密着したおそうざい専門店を目指し、路面店を中心に和・洋・中バラエティーあふれた品揃えを行っています。お客様により満足していただけるよう、季節の美味しい素材を使った商品や人気の定番商品を展開しました。



街と暮らしの
真ん中に

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 第 2 四 半 期 (平成21年10月31日現在)	前 第 2 四 半 期 (平成20年10月31日現在)	前連結会計年度 (平成21年4月30日現在)
資産の部			
流動資産	10,843	9,073	10,310
固定資産	15,837	16,049	16,040
資産合計	26,680	25,122	26,351
負債の部			
流動負債	4,939	4,528	4,474
固定負債	1,157	493	1,354
負債合計	6,096	5,021	5,829
純資産の部			
株主資本	20,601	20,121	20,542
評価・換算差額等	△17	△20	△20
純資産合計	20,583	20,101	20,521
負債純資産合計	26,680	25,122	26,351

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 第 2 四 半 期 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)	前 第 2 四 半 期 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,504	782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△464	△1,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△740	△677
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△2
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	299	△1,211
現金及び現金同等物の期首残高	6,156	6,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,455	4,847

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 第 2 四 半 期 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)	前 第 2 四 半 期 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)
売上高	22,347	23,570
売上原価	9,689	10,428
売上総利益	12,658	13,141
販売費及び一般管理費	11,870	12,357
営業利益	788	784
営業外収益	27	25
営業外費用	11	10
経常利益	804	799
特別利益	1	—
特別損失	130	27
税金等調整前四半期純利益	675	772
法人税等	324	368
四半期純利益	351	403

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

決算の
ポイント

point 1 売上高

雇用の悪化や個人消費低迷などの影響により、売上高は22,347百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

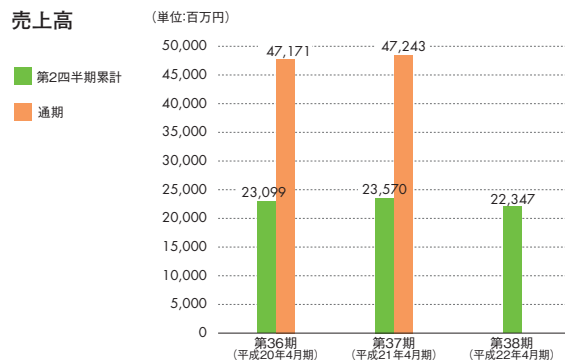
point 2 営業利益

全社を挙げた経費削減の取り組みや計画的購買による原材料の安定確保などにより、営業利益は788百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

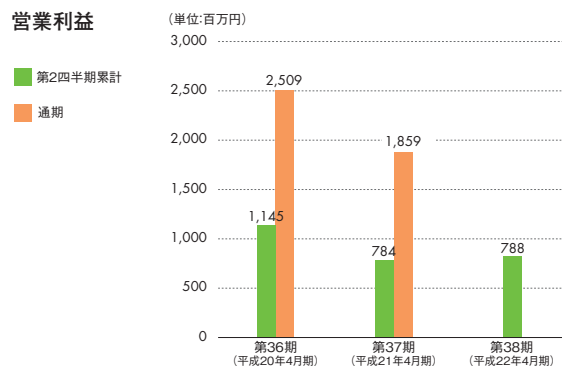
財務ハイライト

会社情報 (平成21年10月31日現在)

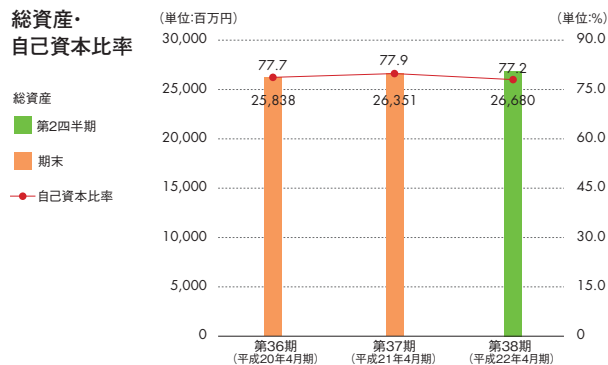
売上高



営業利益



総資産・自己資本比率



● 会社概要

社名	株式会社ロック・フィールド
設立	1972年6月8日
事業内容	そうざいの製造・販売
代表者	代表取締役社長 岩田弘三
資本金	55億44百万円
従業員数	1,352名
子会社	株式会社コウベデリカテッセン

● 役員

代表取締役社長	岩田 弘三
代表取締役専務	湯浅 勉
常務取締役	尾崎 一郎
取締役	垣谷 優一郎
社外取締役	堀場 厚
社外取締役	寺田 千代乃
社外取締役	松村 はるみ
監査役	渡辺 哲夫
監査役	三宅 良治
社外監査役	阿部 良男
社外監査役	林 義久
社外監査役	奥田 実

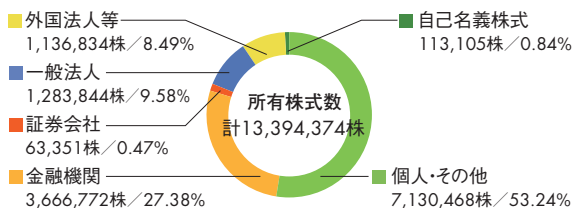
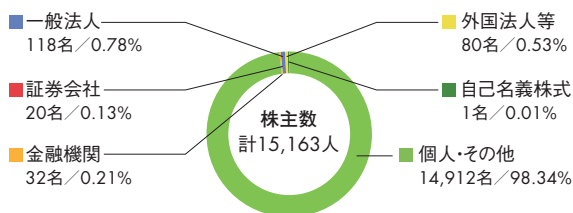
株式の状況 (平成21年10月31日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	13,394,374株
単元株式数	100株
株主数	15,163名

● 大株主

株主名	持株数(株)
岩田 弘三	1,538,868
明治安田生命保険相互会社	656,300
株式会社四国銀行	621,460
ロック・フィールド取引先持株会	338,440
ロック・フィールド社員持株会	307,397
日本ラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	288,000
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	286,400
三菱UFJリース株式会社	241,032
日本ラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	225,200
ザチースマンハッタンバンク エヌエイロンドン エスエルオムニバス アカUNT	224,100

● 所有者別分布状況



● 株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで

定時株主総会 7月

剰余金の配当基準日 期末 4月30日 中間 10月31日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話(通話料無料)0120-094-777

上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

公告方法 電子公告(<http://www.rockfield.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることが出来ない場合は、
日本経済新聞に掲載して行う。

住所、氏名のご変更、単元未満株式の買取請求・買増請求などのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等はお取引の証券会社までご連絡下さい。
また、特別口座で管理されている株式に関するお問い合わせ等は上記株主名簿管理人(特別口座管理機関を兼任しております)連絡先までご連絡下さい。

株式会社 ロック・フィールド

<http://www.rockfield.co.jp/>

- 神戸ヘッドオフィス 〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町15-2
TEL.078-435-2800(代表) FAX.078-435-2805
- 東京オフィス 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-5-1さくら室町ビル
TEL.03-5843-6180(代表) FAX.03-5843-6181
- 神戸ファクトリー 〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町15-2
TEL.078-435-2200(代表) FAX.078-435-2210
- 静岡ファクトリー 〒438-0112 静岡県磐田市下野部2280
TEL.0539-62-5700(代表) FAX.0539-62-5041
- 玉川SPSファクトリー 〒213-0032 神奈川県川崎市高津区久地3-12-57
TEL.044-811-8171(代表) FAX.044-811-8199



環境に配慮し、大豆油インキと
FSC認証紙を使用しております。

